



2021年3月発行 No. 1 2 1

発行者 田森 茂基 編集者 森 洋子

発行所 070-0058 旭川市8条西1丁目1-11

旭川バプテスト教会内

http://hokkaidobap.jimbo.com pw: jbc1947

巻頭言「自らと向き合う時」

連合会長

田森 茂基 (旭川バプテスト教会牧師)

「あなたは、兄弟の目にあるおが屑は見えるのに、なぜ自分の目の中の丸太に気づかないのか。自分の目にある丸太を見ないで、兄弟に向かって、『さあ、あなたの目にあるおが屑を取らせてください』と、どうして言えるだろうか。偽善者よ、まず自分の目から丸太を取り除け。そうすれば、はっきり見えるようになって、兄弟の目にあるおが屑を取り除くことができる。」(ルカによる福音書6章41～42節/新共同訳)

昨年行われた、「北海道バプテスト連合2020年度・定期総会」において、次期役員が決まりましたので、2021年3月末をもって、北海道連合会長の任を終えることとなりました。2017年度から2期4年間、副会長時代も合わせると、3期6年にわたり、皆様の祈りと協力で支えられて、北海道連合の役員としての働きを担わせていただきました。私は、北海道連合の会長の働きを託された時、一つの願いを抱いていました。それは、私たちが暮らす、この“北海道”の抱えている「先住民族」の課題を、私たちの宣教の課題として、連合に連なる諸教会と共有したいという願いでした。

この課題は、少なくとも、この土地が“北海道”と命名された明治2年まで遡ります。つまり、約150年という歳月の間に、積み重ねられてきましたので、一朝一夕に解決する事柄ではなく、やはり長い年月をかけて課題と向き合い、解決に向けて少しずつ歩みを進めて行く類の事柄であると言えるでしょう。その一歩として今回、連合の協力伝道を推進する働きを託された連合役員として気付かされたことを、「北海道命名150年を迎えた私たちの表明」という形で言葉化させていただきました。

2017年度より、「日本バプテスト連盟」は、機構改革に向けた取り組みが具体的に始まりました。その一つが、地方連合ごとに開催することとなった「協力伝道会議」でした。このプログラムの最大のポイントは、日程や会場だけでなく、テーマを含むあらゆる事柄を、連合が決断し、実施するという点にありました。そこには、地域ごとに宣教の課題を見定め、取り組んで行く事への期待があったと受け取っています。

上記の“みことば”は、主イエスが「人を裁くな(新共同訳)」という言葉で語り出された教えの結びの言葉です。私はこの教えを、隣人と向き合う者の心得として、読まされています。即ち、「隣人と向き合う前に、まず自らと向き合いなさい」との教えとして受け取るのです。その意識に立つ時、北海道が抱えている「先住民族」の課題は、私たちが何者であるかが問われ、何者としてこの地で暮らすかが問われる、正に宣教の課題であると言えるでしょう。

2020年度同様、2021年度も感染拡大を防ぐ為、連合も、各教会も、これまでのような活動を展開するのは難しくなると予想されます。それならば、この時を積極的に「自らと向き合う時」として受け止めるのも、一つの在り方ではないでしょうか。人にとって、自分と向き合う事は容易なことではありません。ましてや、自らが直接に関わる歴史と向き合うことは、痛みを伴うことでしょう。ですが、それが福音に繋がるのなら、主イエスから託された働きを担うことになるのであれば、皆で共に担って行きたいと願うのです。

☆各教会のクリスマス、冬の取り組み☆

■『2020年クリスマス集会報告』

帯広バプテスト・キリスト教会■

帯広教会のクリスマス諸集会のことをご報告しますね。

帯広教会では、感染症対策を講じつつ規模を縮小しつつも、19日に子どもクリスマス、20日にクリスマス礼拝、24日にクリスマスイブ・キャンドル礼拝を行いました。20日と24日の礼拝は同時配信のWEB礼拝でも数名の方々が参加されました。

クリスマス愛餐会はできない？いつものような聖歌隊組織はできない？不特定多数が集うようなあまり広く向けての集会案内はできない？自粛なさったりして礼拝においでになる方々は少ないかもしれない？CSの子どもたちとどうクリスマスを迎える？などなど、感染予防対策を話し合いつつ、「いつもどおりはできない、でも、みんなでイエス様のご降誕を記念し、喜びを分かち合いたい」という思いで、以下のようなことをいたしましたよ。

礼拝での特別賛美は、ベルチャイムクワイヤーを組織し、例年1曲のところ今年は2曲賛美しました。新たなメンバーも迎えてだったので、メンバー一同頑張りました。飛沫防止シールドを使用しての独唱の賛美もおさげしました。

教会学校ではオリジナルの影絵動画の降誕劇を作成し、子どもクリスマスとクリスマス礼拝に上映しました。子どもたちは自分の声の流れると照れてもじもじ（笑）。セリフもBGMも映像もとても素敵に編集されていて、心に残りました。

それから帯広教会のオリジナルポストカードを作りました。十勝の四季折々の風景や教会のオリジナル写真を10枚、みんなで選び、み言葉を入れて5枚1組を2セット、各々100セット、レイアウトデザインも素晴らしいものができました。気持ちの落ち込むことの多かった1年ですが、喜びを感じていただけたらクリスマス礼拝とイブ礼拝においでになった方々にプレゼントし、残ったものも自由にプレゼントや自分用に用いていただいています。差し上げた方々にとても好評だったので、毎年新しいカードを作ろうと計画しています。

子どもクリスマスはいつもご招待している近所の施設のお子さんたちをご招待できなかったため、数週間かけてCSの子どもたちで1枚ずつ手作りでクリスマスカードを作り、プレゼントと一緒に届けました。

世の中の多くの痛みを見聞きしつつ、主のおいでを心から祈る忘れられないクリスマスを過ごしました。
[川内裕子]



■2020年の報告 旭川東光キリスト教会■

主のみ名を賛美いたします。

私たちの教会を覚えてお祈りくださり、心から感謝いたします。

11月より旭川では、医療機関および、障がい者福祉施設にて《COVID-19》の大規模なクラスターが発生しました。およそ2か月間で約700人の陽性との検査結果の公表に大きな衝撃と、痛みを覚えました。

教会員の皆で祈りつつ話したときに、礼拝に集う時間を短縮することを決断いたしました。

実際に会堂での礼拝を休止したのは12月6日、13日、27日、2021年1月3日です。その間は礼拝メッセージ原稿を各家庭及び個人に発送しました。12月13日には連合宣教支援として田森茂基牧師（旭川教会）にお願いしていました。田森先生の準備を心から感謝いたします。

12月20日のクリスマス礼拝は開催自体を迷いましたが、祈りつつ礼拝をささげました。ただただ、主なる神様のあわれみにて守られ、5名の方々と心から感謝に溢れた豊かな礼拝を持ちました。

夜の時間帯に行っていた祈祷会は、今は休止することが必要だと決断いたしました。この3月から再開したく準備しています。

イヴ礼拝も休止しました。大切な礼拝を休むことは痛みではありましたが、この時は「いま痛んでいる方に寄り添う」事を選び取ることを導かれた思いでした。

1月には奥村敏夫牧師（釧路教会）による連合宣教支援を準備していましたが、都市間の往来自粛期間中という事もあり、断念せざるを得ませんでした。大切な機会を失ったことが本当に残念でなりません。

しかし、それは先に書きましたように「いま痛んでいる方に寄り添う」事を少しでも感じ、教会としての祈りと歩みを導かれた大切な“時”であったと思います。

全ての“陽性”反応となった方々は、そのご本人にしかわからない不安と恐怖の中にあると聞きます。また、対応する医療従事者の方々の疲労困憊の思いをお察しいたします。主なる神様のお支えと守りを祈り続けていきたいと願うばかりです。

【藤原直之】

■オープンドアチャペル

スモールグループの働きについて■

オープン・ドア・チャペルの交わりはとても明るく楽しいものです。特に、日曜礼拝の後には各自が持ち寄ったご馳走をバイキング形式で食べながら交わりを楽しんでいます。旅人や訪問者をこの主の交わりの中にお迎えすることも度々ありました。私たちの教会は、いつでもいかなる方々にも開かれています。

さらに、オープン・ドア・チャペルは教会として成熟へと向かうように導かれました。そのために、もっと自主的に、主体的に、自発的に教会の働きに参加できるようにスモールグループの働きは始まったのです。従来からすでにそのような働きはありました。聖書の学びと祈り会においては、学びの導き手は必ずしも牧師というわけではありません。信徒の方々にもお願いしています。また、英語バイブルクラスにおいても同じです。教えることや導くことができる人は牧師以外にも多くいるのです。その方々の賜物を用いることは、今後の働きに大きな力になると考えます。

このようにして、他にもいくつかのスモールグループがスタートしました。旧約聖書の学びがその一つです。現在、5名ほどの参加者

によって行われています。旧約聖書というと、とても難しく聞こえます。信徒が導くなんて無理だと思われるかもしれませんが、しかし、実際にやってみると、そんなことはありません。導き手は、事前にある程度の準備をもつてのぞみます。その過程がその人にとって成長の機会となり、聖霊の導きによってお互いに教えたり学んだりすることがお互いの成長と豊かさをもたらしています。同じ関心や興味によって共に集まったり、聖書の学びと祈りのために家庭を解放して集まったり、様々なあり方でスモールグループ活動が出来たらと思っています。負担にならないように、今のところ月1回の頻度で行なうことが多いようです。教会員同士の交わりと成長の場として用いられるとともに、小さな集まりであれば参加してみたいという未信者の方々にも来てもらいたいと思っています。

昨年11月、新型コロナウイルス感染防止集中対策期間が始まって以来、再び、会堂や家で集まることが難しくなっていました。そんな中、感染防止対策を徹底しながら、火曜日に会堂で少人数の聖書の学びと祈り会が持たれています。それと並行して、オンラインでも聖書の学びと祈りの時が持たれています。また、旧約聖書の学びについては、休止することなくオンラインで継続されています。このような事態の中で、オンラインによる集まりに、今後の可能性を見ています。これからさらに、もっとこのようなツールを活用していこうと考えているところです。

【佐々木俊之】



☆2020年度札幌教会主事として働かれた 間村史子さんから北海道連合の皆様へ☆

主の尊い御名を賛美いたします。福岡の宇美教会から来ました間村史子と申します。神さまの不思議なお導きで、九州バプテスト神学校専攻科コースの一年目を、札幌教会で主事として働きながら、神学生として研修もさせて頂けるという恵みに与りました。皆さまのお祈りに支えられ感謝しています。

昨年、三月末に札幌へと移った時、札幌教会はコロナウィルス対策のために、三月第一主日から教会に集まることができず、それぞれの場所での礼拝を捧げている状態でした。七月の第一主日から、集会としての礼拝を分散して行うことができました。皆さまとゆっくりお会いできない中でも、所用で教会へ来られる方々から、教会での仕事や神学校の学びに対して、あたたかい言葉や励ましを頂き、随分と助けられました。出来ないことが多い中で、お一人お一人を大切に思い、祈り、出来ることに全力を注ぐことを学びました。

連合諸教会の皆さまとお会いできなかったことは残念ですが、札幌教会の石橋牧師が作成された、コロナウィルス感染症対策についての連合各教会状況報告の表を見ながら、教会に集う方々の健康が守られ、お働きが祝福されますようにと祈りを捧げていました。

十一月一日にZoomで行われたBWA世界祈禱集会では、女性会の一部の方がたの顔を拝見でき、共に心を合わせて祈ることができたことを嬉しく思いました。

また、一月二十四日に、小樽教会にて交換講壇で奉仕させて頂いたことは、私にとって大きな恵みの出来事となり、たくさんの気づきを与えられました。温かく迎えてくださった小樽教会の皆さまに心より感謝申し上げます。

個人的なことでは、福岡から来ていた父が、札幌教会の皆さんに本当によくしていただき、何と生まれて初めて礼拝に出席しました。私が十四年程前にバプテスマを受けて以来、父は清掃や畑仕事などで、教会の外回りにはよく来ていましたが、礼拝には出席したことがありませんでした。約十四年の年月を経て、神さまの賜が与えられたことを感謝します。

九州で生まれ育った46年の人生の中で、北海道をこんなに身近に感じることは、正直なところ今までありませんでした。神さまが与えてくださった出会いに感謝して、これからも北海道の皆さまのために祈り続けます。全ては主イエス・キリストの栄光のために。感謝をこめて。



■コロナ禍のクリスマスイブ讃美礼拝■

札幌教会では、7月から礼拝が再開され、聖歌隊も6人での奉仕を続けています。

2020年度のクリスマス讃美礼拝は、30分の制約の中では例年のメサイア中心のプログラムでなく、子どもから大人まで参加する礼拝を目指しました。。聖歌隊は全員で讃美できるように、事前録音する事になり、いつも以上に集中したお陰で、一発OKを連発！心一つに、声を合わせて讃美できる喜びに、感謝いたしました。

当日は、ゆっくりと聖画と御言葉を味わい、子ども達の捧げる灯火に心が震える礼拝をもちました。暗闇の中でこそ、主の光が輝くことに感謝できたクリスマスです。[清水寿美子]

☆役員会から☆

コロナ危機対応、また、様々な変化に追われた一年だったと思います。クリスマスや通常の伝道や交わり、学びの持ち方について、これからもわかちあっていきましょう。今回、紙面に収めきれなかった教会については次号へ引き継ぎたいと思います。それぞれの苦闘の中に立ち、私たちと共に働かれる主からの励ましと労いが豊かにありますように祈ります。

*総会のスケジュール、WEBによる2回 [4/29、5/16] の質疑応答を経て、6/3に文書による決議を行います。別紙をごらんください。

*3月20日 (土) WEB 懇談会
テーマ

「北海道命名150年を迎えた私たちの表明」について、どなたでも参加可能な自由な懇談会を行います。こちらも別紙案内をごらんください。

北海道バプテスト連合 [協力献金口座] :

郵貯 19000-17922911

北海道連合災害対策委員会 (災害対策委員会口座) :

郵貯 19000-21316651